

2022年度決算説明会 イビデン株式会社 (4062)

2023年5月2日



このプレゼンテーション資料には、2023年5月1日現在の将来に 関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。 世界経済・競合状況・為替変動等にかかわるリスクや不確定要因

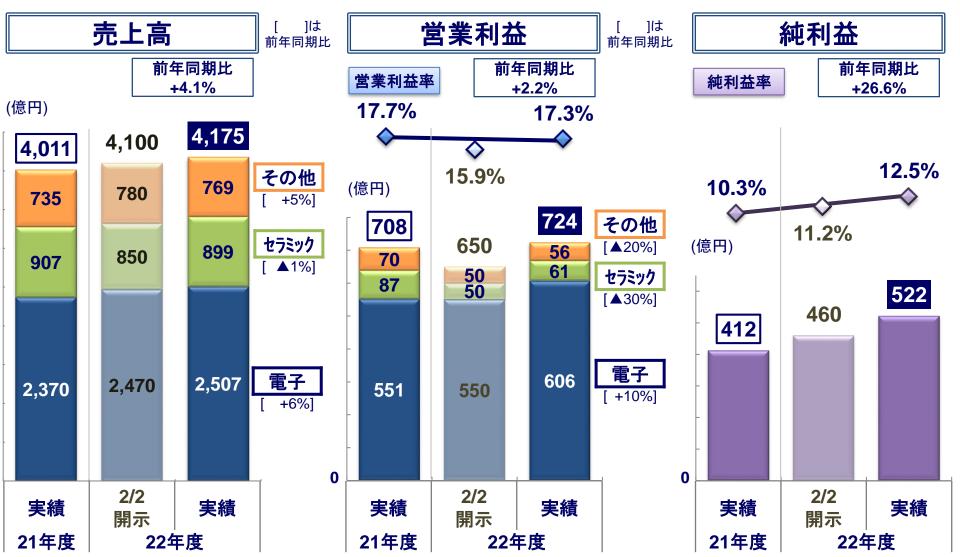
により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。



2022年度 実績

2022年度(通期) 売上高・営業利益・純利益 実績





111	133	133	為替(ドル)
129	138	139	為替(ユーロ)



市場見通しと当社事業展望

[電子] パソコン市場の動向



- □ 22年後半からの需要急減を受けた在庫調整は、23年前半までの継続を見込む □ 23年後半以降は在庫の正常化に伴い、緩やかに回復する見通し
- ◆ パソコン成長率(前年比) (外部調査会社の情報を基に推定) 14% 15% 10/27時点 0% (単位:億台) 3.0 19年 20年 21年 22年 23年 24年 25年

[電子] 電子市場の展望



□ データセンター市場は、通信技術の発展と製品・サービスの進化・普及により今後も拡大 □ データ処理能力の高度化と省エネ化ニーズにより、半導体の高機能化が見込まれる

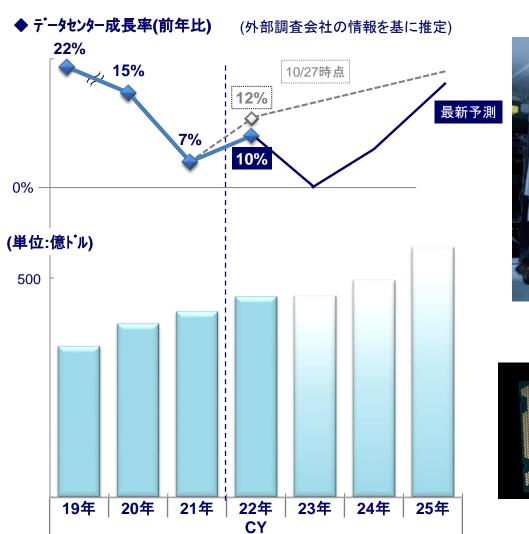


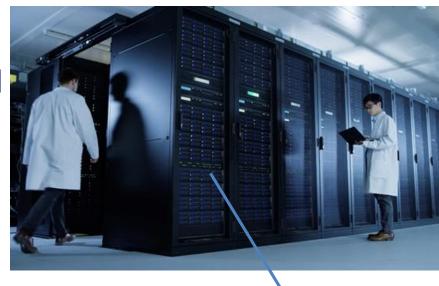
Page#**7**/19

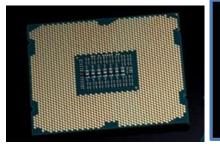
[電子] データセンター市場の動向

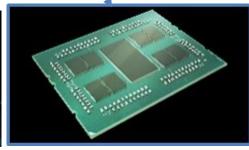


- □ 23年はハイパースケーラーの一時的な投資抑制によって横這いを見込む
- □ 24年以降は需要拡大と投資意欲の回復に伴い、高成長軌道に回帰する見通し





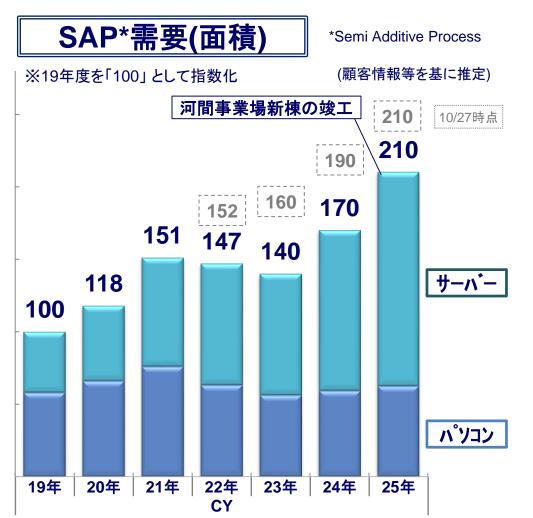


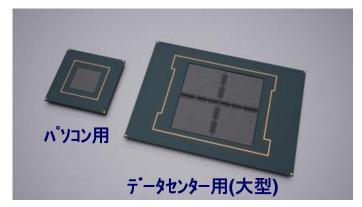


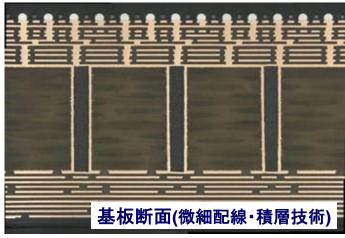
[電子] ICパッケージ基板の需要見通し(SAP面積換算)



- □ 大型・高機能ICパッケージ基板の需要増に対し、「微細配線・積層技術」、「市場変化に対する既存生産能力の柔軟な運用」「生産能力の増強」で対応する
- □ 経産省助成金を受けて、顧客・用途の多様化と需要拡大に対応する(大野工場)





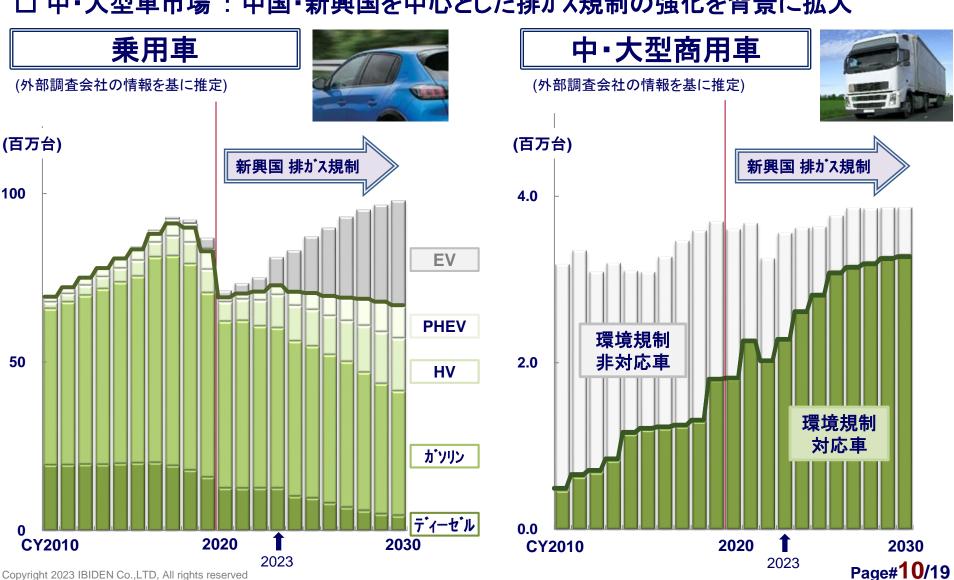


[セラミック] 自動車生産台数の見通し



: 電動化シフトは継続するも、合成燃料により内燃機関搭載車が延命 □ 乗用車市場

中・大型車市場:中国・新興国を中心とした排がス規制の強化を背景に拡大

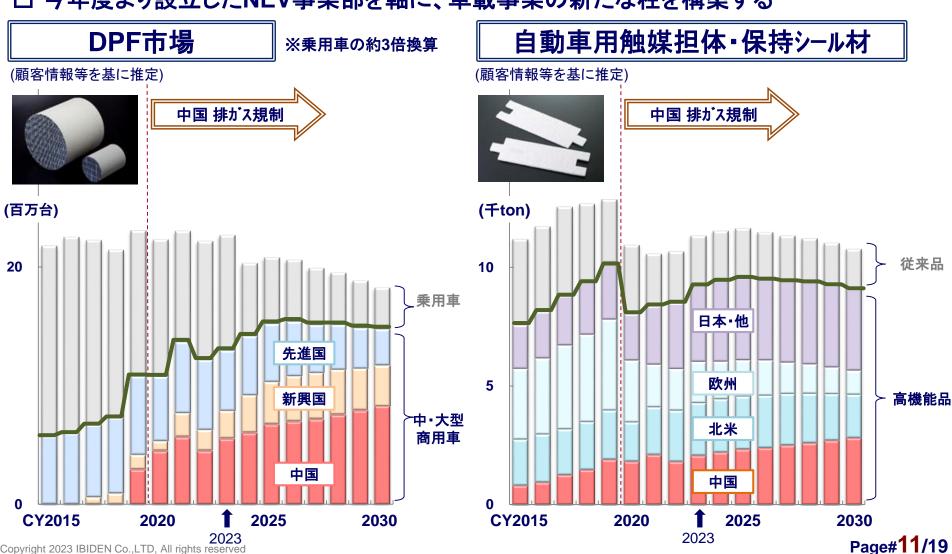


[セラミック] 排気系事業

Copyright 2023 IBIDEN Co., LTD, All rights reserved



- □ 物流・コスト視点で、日米欧中の4拠点を活かした最適地生産を実施する
- 合成燃料に対する技術動向と市場変化を確実に捉え、収益拡大を図る (DPF・シール材)
- 今年度より設立したNEV事業部を軸に、車載事業の新たな柱を構築する

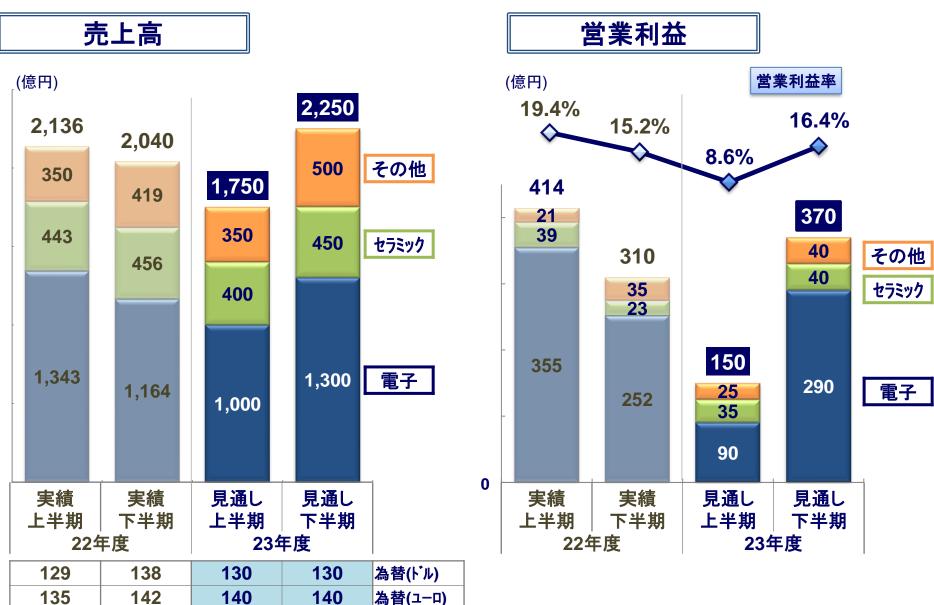




2023年度 見通し

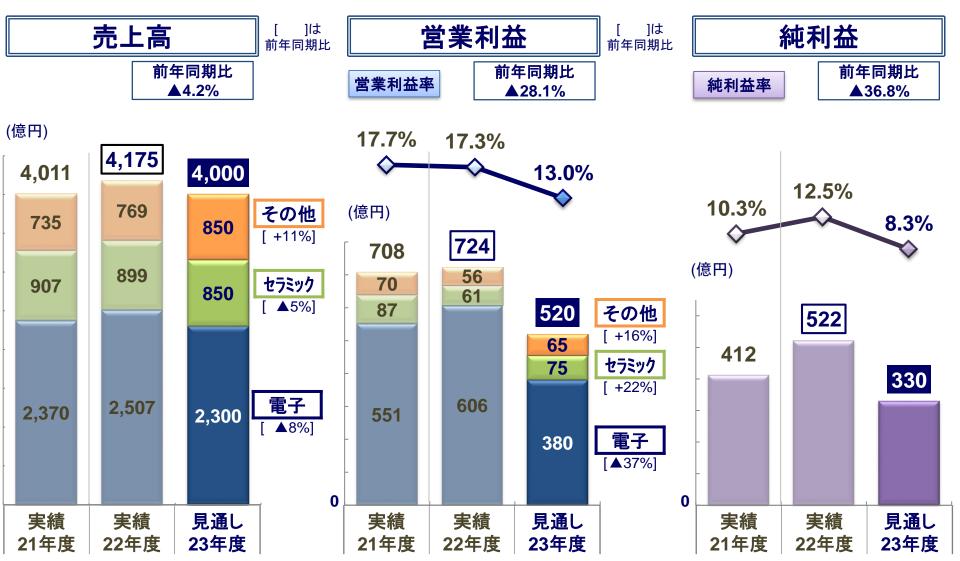
2023年度(半期) 売上高・営業利益 見通し





2023年度(通期) 売上高・営業利益・純利益 見通し IBIDEN





111	133	130	為替(ドル)
129	139	140	為替(ユーロ



新中期経営計画 Moving on to our New Stage 115 Plan

(略称: MNS 115 Plan)

新中期経営計画



Moving on to our New Stage 115 Plan (MNS115 Plan)

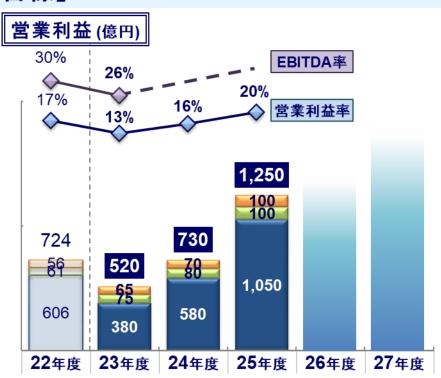
【活動の5本柱】

1 事業の競争力強化 "稼ぐ力"

2 新規製品の事業化 "伸ばす力" 3 モノづくりの改革 "継続する力" 4 企業文化の改革 "変える力" 5 ESG経営の推進 "永続する力"

【全社経営目標】

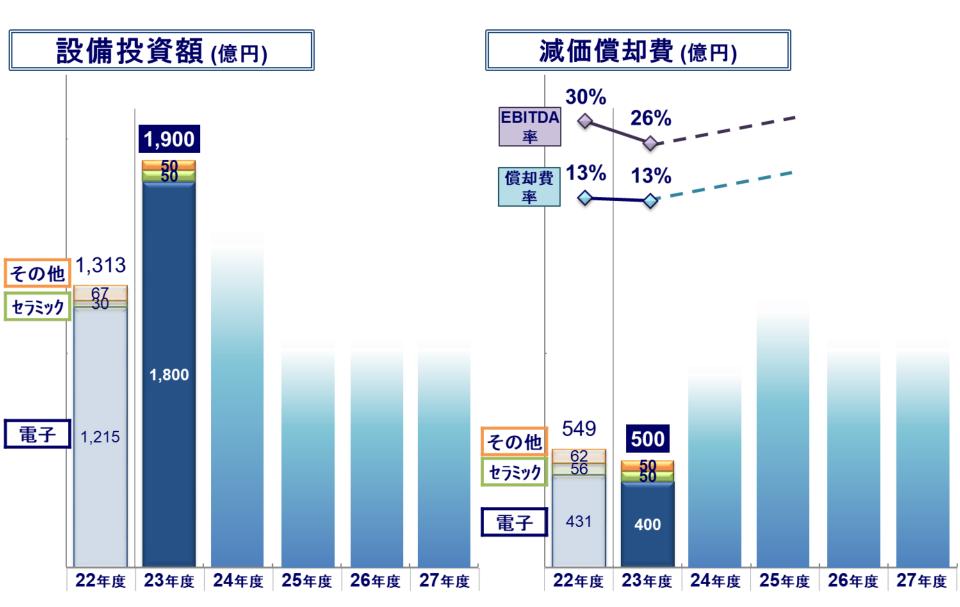




Page#16/19

設備投資(検収)額・減価償却費の計画





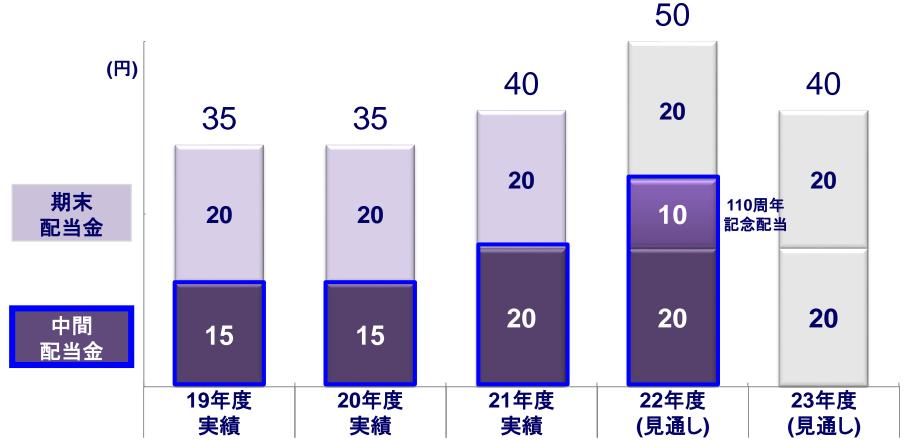




株主還元



- □ 資本配分の考え方として、当面はICパッケージ基板向け大型投資を優先する □ 株主還元は、「安定配当」を基本方針とする
 - 一株当たり配当金



Page#19/19

